

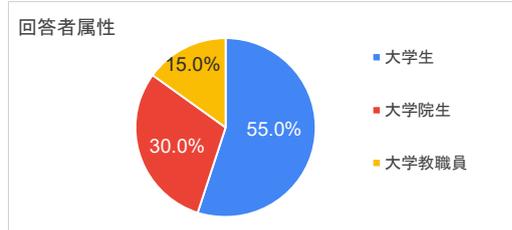
2021年度 大学コンソーシアム大阪特別講座 AIでどうなる？私たちの将来 (2021年6月13日開催)

受講者アンケート

回答者20名 / 受講者31名 回収率 64.5%

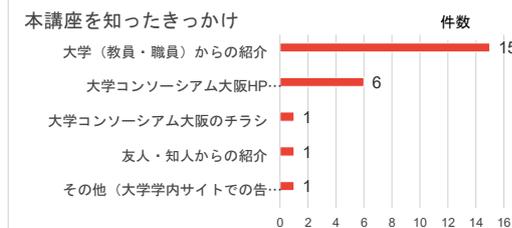
1. 回答者属性

大学生	11
大学院生	6
大学教職員	3



2. 本講座を知ったきっかけ(複数選択可)

大学(教員・職員)からの紹介	15
大学コンソーシアム大阪HP (SNS含む)	6
大学コンソーシアム大阪のチラシ	1
友人・知人からの紹介	1
その他	1



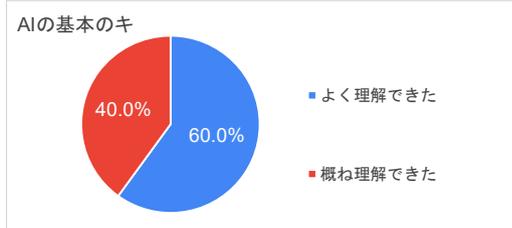
(その他)

- ・大学学内サイトでの告知

3. 今回の講座について内容をよく理解できたか

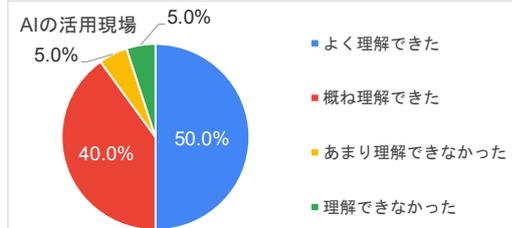
ミニ講義① AIの基本のキ

よく理解できた	12
概ね理解できた	8
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0



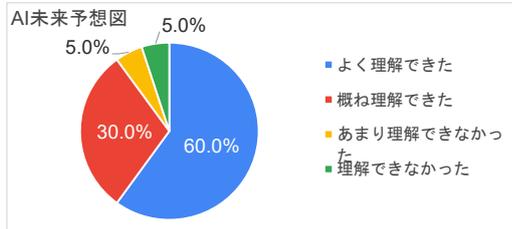
ミニ講義② AIの活用現場

よく理解できた	10
概ね理解できた	8
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	1



ミニ講義③ AI未来予想図

よく理解できた	12
概ね理解できた	6
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	1

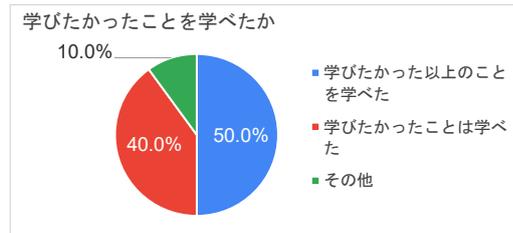


3-2. 理解できなかった理由

- ・単純に回線が不調で、最後まで講義を聴き取ることが出来なかったため。
- ・具体的でなかった
- ・専門用語が多く、且つとても詳細の内容であったため、とても難しかった。

4. 今回の講座で学びたかったことを学べたか

学びたかった以上のことを学べた	10
学びたかったことは学べた	8
学べなかった	0
その他	2



(その他)

・AIに対する倫理規定・法規制といった、新しい見方に触れられた。

・自分の知識不足で十分に理解できない点があったので、そこはご紹介いただいた参考図書などを通して、深めていきたいです。

4-2. 学べた内容について

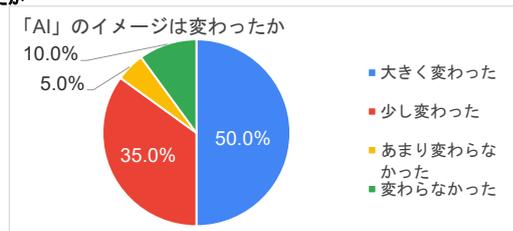
・倫理的の問題
・技術発展と倫理感についての詳細
・AIは仕事を奪う、と考えていたのですが共存の定義を改めることができたのでとても興味深い内容でした。
・人工知能について「文科系の学生に対して、どのように説明するとよいか」で、山元先生の説明方法を盗ませてもらうと思う。
・AIには仕事を奪われるというネガティブな捉え方をしていたので楽に効率よく仕事や生活をしていくのうまく活用できないかと挑戦的に考えることが大事なのだと思います。またコンピューターの詳しい仕組みや自分の知らない分野でどう活用されているのかを知ることが出来たのも良かったです。
・AIと人間がどう関わるかへの見方：強いAIと弱いAIの差異
・AIの具体的な活用例とオープンシティを知れたのが嬉しかった。
・特異点について理解できた
・AIが今後どのように人類に役立つか。
・最新の情報を学べた

5. 今回の講座でためになったと思える内容

・倫理的の問題
・AIの歴史的な流れがわかったこと、AIの未来像（人との共生へのヒント）が見えたことです。
・人工知能の現在・過去・未来についてクイックで学ぶことができました。
・AIは各分野に様々な形である、ということを知り、今後の活躍が大きく見込めるということが分かりました。脳を再現する、ということから倫理的な問題が個人的に一番気になっていますが、現段階では解決ができないとのことなので、今後のAIの進化と認識の変化に期待したいです。
・仕事だけでなくスポーツの面でも人間の向上のために使われているということで今はスポーツ系のAIがプロの方に主に使われていると思いますがもっと学校とかでも使えるように単価が安くなったり手入れが簡単になったら良いなと思いました。
・SFにあるようなAIの反逆などが比較的に起こりにくいこと。また、今後のPCのスペックによってはさらに成長する可能性があること。
・国の方向性
・AIは人間と対立するものではなく、人間を幸せにするものだという事を知る事が出来た。
・教員もAIについて学び続ける姿勢を、学生に見せてゆく必要があることを痛感した。
・技術発展と倫理のバランス調整の難しさ
・自動運転の制御

6. 本講座を受ける前と受けた後で「AI」のイメージは変わったか

大きく変わった	10
少し変わった	7
あまり変わらなかった	1
変わらなかった	2

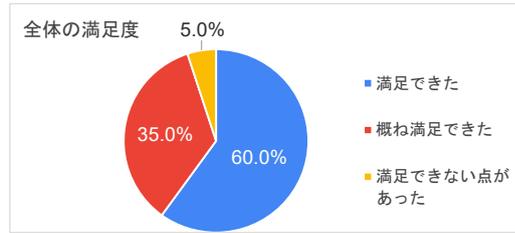


6-2. どのような点が変わったか

・人間がコントロール出来ることについて
・そもそも「AI」とは何かということについて、漠然としたものだったのが、どの側面から見るかということがわかり、自分なりに整理が得られたことと、「AIとの共存（共生）」ということについても、具体的に何だろうと（何が出来るのかということについて）考えるヒントが得られたことです。
・AIについては漠然とそういうものがある程度の認識しかなかったが、AIが状況により変化するもので、情報学に限らない学問領域と関わるものであると認識が変わった。
・参考文献が提示されており、事後学習の際に確認することができたため。
・人の仕事を奪う、と考えていましたが、イノベーションにつなげることができるということだったので、考え方が変わりました。
・仕事を奪われるネガティブな面をすごく気にしていたのですがポジティブな面を先生方に紹介していただいて楽に効率よく人間が生活していくためにこれから必要になっていくと思うのでどう利用していくかと主に考えていこうと思うように変わりました。
・AI自身が成長することがないということ
・予想以上に技術的に可能になる
・AIは非人道的だと思っていたが、此れからは、AIと共生し幸せになるべきだと分かった。
・AIの中身および作り方が気になっていたのだが、それをどのように活用すればうまく行くのか、倫理的観点からだめにならないかなど、新たな観点が増えて、自分のやろうとしていることの価値が変わった。

7. 本講座全体の満足度

満足できた	12
概ね満足できた	7
満足できない点があった	1
不満だった	0

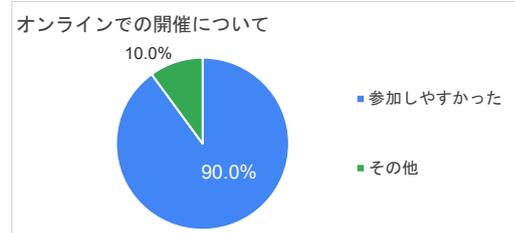


8. 本講座に参加して感じたことや考えたこと

<ul style="list-style-type: none"> 調べるだけでは知識に限界があるので、今回のように専門家の方々から講義を受けれることがとてもうれしいです。今後もAIについて学習を続けていこうと思います。 自分の詳しくない分野の方がたくさんいらっしゃってそうしたAIについての考え方や捉え方が異なっている方と討論出来たりお話を聞けたのは興味深かったです。 大学の教育そのものがAIが無い状態を前提にしているので、その根本的な認識から変化させる必要があると思った。 みんなで意見交換ができるグループディスカッションがとても楽しく、他の人の価値観の勉強にも繋がってよかった。 倫理ガイドラインの整備が急務 質疑応答の際、全員分の質問に答えられるように、時間を取って欲しいと感じた。折角質問をしたのに、答えももらえていない方がいらっしゃった。 過去を振り返る人工知能の歴史では、大きなトレンドを解釈できるような「補助線」があらかじめ明示されてますと、全体の講義の流れが分かりやすかったようにも思います。また、人工知能の現在で用いられた卓球技術向上モデルは、論文の書き方の視点から、すなわち、先行研究と比べた判断の部分のファジー推論のオリジナリティと深層学習や機械学習など他の研究との比較の観点からのコメントがサラッとしており、ワクワク感があまり感じられませんでした。この既存研究との比較は論文の生命線なので、自動車と固定物の認識の誤差を最小にするという部分に、なぜ、ファジー推論が最も良いのかを、その欠点もお示しになられたうえでお話になれますと、なお面白かったようにも思います。最後の、人工知能の未来につきましては、現時点では不確定要素が多いだけに、少子高齢社会など社会を取り巻く環境の変化のなかでも確定的な要素を踏まえた研究の発展のパスが幾つか描けますよ、というくらいの大雑把なお話で終わりましたが、国内外の学会のトレンドを踏まえられた具体的な研究事例の御報告がそれに加えられておりましたら、より面白かったようにも思います。しかし、あらかじめ相手が見えない講座ゆえ、どの程度の準備が必要かがわからなかったところもありますので、正直なところ、ざっとした概略が分かればよしとするところに着いてしまうのは、仕方のないことでしょうか。入門書レベルであれば、レコメンドの多い文献を入手して読むことで素人でもやる気があればアクセスすることができそうですが、専門論文の読解はできませんので、そのあたりで差別化を付けられるなど講義ノートの工夫をされますと、後の残る仕事になったようにも思います。残念ながら、これは準備に時間がかかりますので、第一線でご活躍の先生各位には難しいのではないのでしょうか。結局、今一番面白いところを核にされて、お話しいただくのが最も相手に伝わるように思います。その意味で、難解ではありました関西大学の林先生のご報告は、大変面白く拝聴させていただきました。
--

9. オンラインでの開催について

参加しやすかった	18
集参型の方が良かった	0
どちらともいえない	0
その他	2



(その他)

・メリット・デメリットはそれぞれあるので、一概には言えない。

・感染症が流行している以上遠隔開催は止むを得ないとはいえ、回線落ちして十分に聴き取りできなかった点で、参加しづらさが残ったことを指摘しておく。

10. 今後、このような講座があればまた参加したいか

参加したい	13
内容・日程による	7
参加したくない	0
参加できない(卒業などの理由で)	0

